



風かおる  
人が輝き  
躍動するまち

# とままえ

8

No.576



## まちびと 百景

### エビ簞オーナー in 苫前

7月26日(日)に開催された第6回北海道風車まつりにおいて、初めての試みとしてエビ簞オーナーin苫前が行われ、約100名のオーナーがエビの箱詰めを行った。少しでも多くエビを持って帰ろうと札幌や旭川などから情報を得た参加者は、カゴいっぱいエビを詰め、満足そうな表情で会場を後にしていた。

- 北海道風車まつり・ちよい島…2
- 町内神社祭・安全祈願祭等…3
- 苫前商業高校イベント…4
- 共進会・ふるさと塾等…5
- 健康ばんざい…6
- 国民健康保険ガイド…7
- 国民年金…8
- まなびの情報…9
- 地域貢献事業・文芸…10
- ファイヤー通信…11
- 風車まつりギャラリー…12

### まちの人口

人口/3,729人 (男/1,736人 : 女/1,993人)  
世帯数/1,659世帯 (7月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

# 第6回北海道風車まつり盛大のうちに終了

今年で6回目となる北海道風車まつりは、7月26日(日)とままえ夕陽ヶ丘未来港公園で実施され、約3,000人の来場者を集めて無事終了した。前日の雨で当日の天候が心配され、開催時間前まで曇り空だったが、開会時には晴れ渡り気温も上昇する中実施された。

今回は、親子で楽しめるイベントとして「体験」を中心にブースを設置するとともに、ステージイベントや特産品、飲食店、フリーマーケット等の販売コーナーのほか、町外をターゲットにしたエビ籠オーナー制度実行委員会による「エビ籠オーナー in 苫前」が初めての試みで実施された。



体験コーナーでは、苫前建設協会の協力による建設重機の体験乗車や北留萌消防組合苫前・古丹別支署によるAEDや水消火器による消火体験及びミニ消防車での記念撮影など地元の団体の協力で実施したものや、バルーンアートや花風車づくりなどのものづくり体験コーナー、有料で体験することができるネイルアートやセグウェイへの体験乗車、そして、昨年実施された港湾業務艇「ゆりかもめ」による苫前漁港見学など計9つの体験コーナーが設置され、様々な世代が体験を楽しんでいた。

ステージイベントでは、「パフファミリー」による子ども向けの音楽やステージパフォーマンス、YOSAKOIソーラン祭へ通算10回出場し、本年組織委員会より表彰を受けた「苫前鱗萃会」によるダイナミックなYOSAKOIソーラン、そして、圧倒的な歌唱力で北海道180市町村公演を目指し活動している活動している「JUNCO×NARICO×AYA」によるステージもイベントを盛り上げた。

今回、初めて行われた「エビ籠オーナー in 苫前」では、札幌や旭川などから集まった約100名がエビの箱詰めを行ったが、少しでも多くのエビを持ち帰ろうとカゴに山盛りにするものの、そのほとんどがカゴからあふれ、悪戦苦闘する姿に会場が笑いに包まれていた。



## 商工会青年部主催事業

# 「チョット島までいってきま〜す!」

苫前町商工会青年部主催による「チョット島までいってきま〜す!」が7月18日・19日の2日間、小学生、その保護者、講師・関係者など42名が海の向こうに見える焼尻島・天売島を舞台に実施された。昨年は「自転車ツーリング」として苫前町から小平町までを1泊2日で往復する事業を実施したが、保護者から大変好評でまた実施してほしいとの声に、今年も商工会青年部が企画・実施したもの。今回は、近くに見ることができ焼尻島・天売島に行ったことのある子ども、大人ともに少ないことから、自然の宝庫である留萌中部をもう一度見つめ直しふるさとの良さを体感するとともに、島の特徴でもある細い道や急勾配の坂を自分の力で走破することや子どもと大人が同じ体験を行い、達成感や連帯感を体験することで親子の絆を深めることを目的に行った。

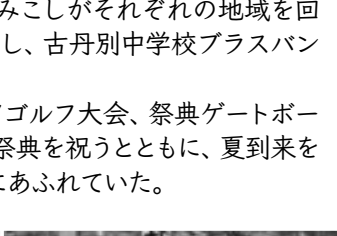
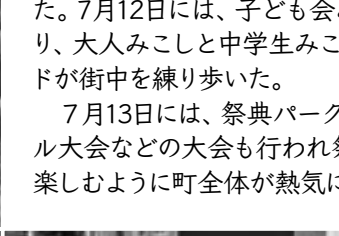
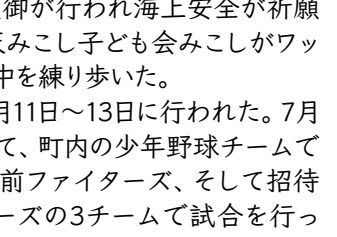
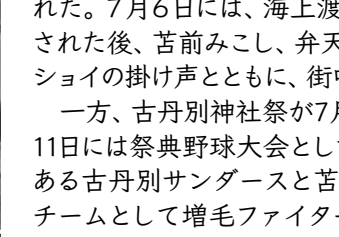
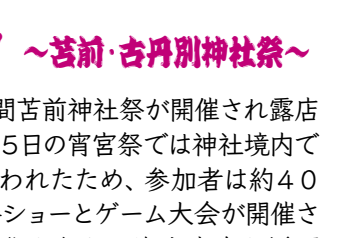
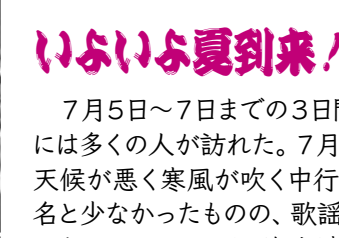


7月18日(土)曇り空の中集合、フェリーに乗り一行は焼尻島に向かった。フェリーではえさを求めるカモメに子どもたちは大興奮。船酔いするものも少なかった。焼尻島に到着後は自転車による移動だったが、焼尻島のアップダウンに四苦八苦。あまりの上り坂にあきらめ自転車を押す子も。中には自転車を降りずに坂を登り切る子どももいて、周りから賞賛を受けていた。焼尻島の白浜海水浴場にて昼食後、海遊びを行ったあと、フェリー乗り場へ向かい天売島へ。

天売島では、宿として羽幌町教育委員会の協力もあり天売小中学校体育館を使用、参加者はウトウのナイトウォッチングへ。懸命に自分の巣へえさを運ぶウトウとそれを奪おうとするカモメとの争い、近くに横たわるヒナの無惨な姿を目の当たりにして、子ども達も自然の摂理に言葉を失っていた。

19日(日)は朝からの雨で波も2~3メートルになる予報で、午後からの船が欠航する可能性もあったことから、昼から予定していた海底探勝船による見学をあきらめ、雨天の中高学年は天売島1周に、中低学年は島の途中でフェリー乗り場へ引き返し、午前の便で羽幌へ。

フェリーターミナルで行われた閉会式では、親子ともに心地よい疲労感と走りきった達成感に満足そうだった。



## いよいよ夏到来！～苫前・古丹別神社祭～

7月5日～7日までの3日間苫前神社祭が開催され露店には多くの人々が訪れた。7月5日の宵宮祭では神社境内で天候が悪く寒風が吹く中に行われたため、参加者は約40名と少なかったものの、歌謡ショーとゲーム大会が開催された。7月6日には、海上渡御が行われ海上安全が祈願された後、苫前みこし、弁天みこし子ども会みこしがワッショイの掛け声とともに、街中を練り歩いた。

一方、古丹別神社祭が7月11日～13日に行われた。7月11日には祭典野球大会として、町内の少年野球チームである古丹別サンダースと苫前ファイターズ、そして招待チームとして増毛ファイターズの3チームで試合を行った。7月12日には、子ども会みこしがそれぞれの地域を回り、大人みこしと中学生みこし、古丹別中学校ブラスバンドが街中を練り歩いた。

7月13日には、祭典パークゴルフ大会、祭典ゲートボール大会などの大会も行われ祭典を祝うとともに、夏到来を楽しむように町全体が熱気にあふれていた。

## シーフロントパーク

### 安全祈願祭

七月十三日(月)、とままえ夕陽ヶ丘ホワイトビーチ管理棟前で森町長、星野町議会議長ら二十二名が参列のもと安全祈願祭が執り行われた。当日はあいにくの雨となり絶好の海開きとはならなかったが、挨拶で森町長からは「ここ数年事故は発生していないが、皆様のご協力により安全に利用していただきたい」と述べたあと、今年も好天に恵まれ、事故のない観光シーズンとなることを願って玉串奉天を執り行った。



## 衆議院議員総選挙

### 実施本部を設置

苫前町選挙管理委員会は、第四十五回衆議院議員総選挙が八月十八日公示、八月三十日投票が実施されるため、七月二十二日役場庁舎内に「衆議院議員総選挙苫前町実施本部」を設置した。

前回の選挙は、郵政民営化の是非を問うため四年前に行われ自由民主党が圧勝したが、今回は自由民主党と公明党の連立政権が継続か、民主党等による政権交代が実現するかの選挙として注目されていることから、選挙管理委員会も「日本の今後を左右する大切な選挙であるため、国民の大切な権利を放棄することなく、期日前投票などの制度を活用し、忘れずに投票願いたい」と述べていた。



# 苫前商業高校イベント目白押し

## ボランティア活動実施

七月七日(火)古丹別市街円で例年実施しているボランティア活動を行った。これは、ボランティア活動を通じて社会の一員であるという自覚と地域に対する郷土愛を育てるとともに、自発的な奉仕活動に取り組む意識づけとして毎年行われているもの。

活動内容は、「ゴミ拾いや草取りなどのほか、公共施設の清掃や窓ふきを行ったが、この日は晴天に恵まれ、気温も上がっていたこともあり、外での作業は大変だったようだ。しかし、自分が汗をかいながら作業を体験することで普段使っている施設や道路、環境美化を維持することの大切さや意義について学んだようだ。



## 性教育講話行われる

### 生徒ら真剣に受講

七月八日(水)同校体育館にて全校生徒八十五名を対象に旭川市赤十字血液センター所長の牟禮(むれ)和秀先生を講師に性教育講話が実施された。

講話では性感染症が完治するもの、命に関わるもの、症状がないものなど、約八十種類あることなどを話された。特に、エイズ(後天性免疫不全症候群)は、以前感染すると三ヶ月で死に至ったものが、現在は医療が進み四十年位延命となったものの、いまだに完治できない怖い感染症で、日本での感染者数が約一万人ほどで古前に感染者がいる可能性は低い。また、クラミジアという感染症は自覚症状がなく男女ともに不妊となる可能性のある怖い感染症で、古前にも感染者がいる可能性があると話し、生徒は真剣に講話に耳を傾けていた。

## 苫商生元気がいっぱい!

### 苫前商業高等学校祭

七月十八日(土)、十九日(日)に第四十四回苫商祭(北翔斗実行委員長)が行われた。今回の学校祭のテーマは「絆 One for All for one」。これは、「ひとりみんな(主体)のために、みんな(全体)はひとりのために」で、係、クラス、学校、さらには地域全体がつながろうという思いが込められていた。

十八日(土)は天候にも恵まれ、屋外でのカラオケなどのステージイベントや模擬店、縁日などが行われ、来場者「いらっしやいませ」「ありがとございまして」と、生き生きとした生徒の挨拶と笑顔が見られた。翌日の十九日(日)は雨となり、来場者数は少なく、野外の催しは校舎内で行われたが、生徒にとっては思い出に残る学校祭となった。



## 「とままえバザール」 厳選つまいもん市

### 第2回目も大盛況

七月二十日(月)旧中央スーパー古丹別店において同校商業部主催で第二回目となる「とままえバザール」厳選つまいもん市が行われた。

前回は時期の関係により地元で採れた新鮮な野菜が少なかったが、今回はとままえメロン、ミニトマトや、増毛町のさくらんぼ、初山別村のアイスクリームのほか管内、全国の特産品なども取り揃えた。

商業部で開発、羽幌町の製造業者に依頼した「丹羽さんちの生キャラメル」や苫前産小麦粉使用の「パコ」は大人気であり、当日は開店前から大勢の住民が集まり、一台のレジに長蛇の列となった。

## 新1年生に事故防止啓発活動を実施

### ～苫前土地改良区が自由帳とファイルを贈呈～

苫前土地改良区(丹羽雅幸理事長)が水路や川における事故防止の啓発活動の一環として、6月25日、26日の2日間、苫前・古丹別小学校をそれぞれ訪問した。これは毎年実施しているもので、本町では水路や川における事故の発生はないが、全国的に水路や川における痛ましい事故が後を絶たないことから、新1年生を対象に水路で遊ばないことや、川に行く場合は大人の人と一緒に行くよう説明した後に、自由帳と農業施設入りクリアファイルを手渡した。

また、改良区施設事故防止啓発ポスターを両小学校、スポーツセンター、公民館図書室等へ配布し農業用施設での事故防止を呼びかけた。



## 第57回苫前町乳牛共進会 ～最高位クラス決定～

第57回目を数える乳牛共進会が7月23日(木)上平地区共同利用模範牧場で、苫前町、JA苫前町、酪農組合の主催で開催され、町内8戸、3団体の酪農家から丹誠込めて育てた39頭が出陳、青空のもと無事終了した。この共進会は、乳牛の資質向上と知識普及により、酪農の振興や農業経営の安定などを目的に行われている。近年、本町から出陳される乳牛は道北大会や全道大会でも非常に評価が高く、上位に位置していることから、今回の審査においても期待が高まった。審査は、乳牛の月齢により8部門に分かれ、それぞれの部門の1位からさらに最高位賞やベストプロダクション賞(乳量・乳質が優れているもの)を選ぶものであり、審査員はアルタジャパン株式会社代表取締役の細野淳氏が行った。

細野氏は、「体貌と骨格」「肢蹄」「乳用強健性」「乳器」などの個々の部位と総合的なバランスを細かくチェックし、順位理由を出陳者に説明しながら、各部門の順位を決定していた。審査結果は下記のとおり。

各部1位のみ	出陳者氏名	名 号	区 分
第 1 部	中 嶋 卓 広	クスタジヨトトルマンヒロイ	未 経 産 牛 6ヶ月～12ヶ月未満
第 2 部	伊 藤 雅 史	ウイグ ミシケルトロズ ET	未 経 産 牛 12ヶ月～14ヶ月未満
第 3 部	中 嶋 卓 広	クスタトハントオウテスタ	未 経 産 牛 14ヶ月～18ヶ月未満
第 4 部	中 嶋 卓 広	クスタセツミマリ ET	未 経 産 牛 18ヶ月～22ヶ月未満
第 5 部	伊 藤 雅 史	ウイグ フィバー トストリートイン	経 産 牛 30ヶ月未満
第 6 部	グリーディーミルククラブ	グリーディーミルク SS トム マジョカ ET	経 産 牛 30ヶ月～36ヶ月未満
第 7 部	伊 藤 雅 史	ウイグ ホリ セツパバー ノザン	経 産 牛 36ヶ月～48ヶ月未満
第 8 部	中 嶋 卓 広	クスタアルヒナフォービテン	経 産 牛 48ヶ月以上
最 高 位 賞	中 嶋 卓 広	クスタセツミマリ ET	未 経 産 牛 18ヶ月～22ヶ月未満
最 高 位 賞	グリーディーミルククラブ	グリーディーミルク SS トム マジョカ ET	経 産 牛 30ヶ月～36ヶ月未満
ベストプロダクション賞	グリーディーミルククラブ	グリーディーミルク SS テラティット ET	経 産 牛 36ヶ月～48ヶ月未満
ベストプロダクション賞	丹 羽 秀 樹	フォーカストアララビ	経 産 牛 48ヶ月以上



## 非行の時期に引き締めを！

### ～地域を見守る住民の集い兼通学路等パトロールボランティア研修会～

7月16日(木)午後7時より公民館において、苫前町・教育委員会・防犯協会・青少年問題協議会の共催で「平成21年度地域を見守る住民の集い兼通学路等パトロールボランティア研修会」が、地域住民、PTA、学校関係者など約80名の参加を得て開催された。まず、パトロールボランティア研修会として羽幌警察署生活安全課生活安全係の三浦文郷係長より「子どもの安全対策について」と題して講話を行った。青少年を育てるための環境が性犯罪、虐待の増加などにより悪化しているため、日頃からの家庭におけるコミュニケーションをとることや、もし登下校時に事件等に遭遇したら、すぐ近所に知らせるなどの迅速な対応を子どもに指導するよう促した。



その後、「住民主体による地域情報受発信の意味～マチの聴こえる回覧板 エフエムもえる～」と題して株式会社エフエムもえる代表取締役社長の佐藤太紀氏より講演を行った。全道23ヶ所あるコミュニティFM放送局で、会社という形態ながら、社員4名に対しボランティアが120名という組織での運営は異例とのこと。パーソナリティーのほとんどがボランティアだが、自らの口から寄せられた言葉がそのまま放送されてしまうため、子どものパーソナリティーには「人の悪口を言わないこと」、大人のパーソナリティーには「常識は捨てて、良識は保つよう」指導している。また、よく「留萌には何も無い」というが、「留萌のことを知らない」ことが多く、留萌の魅力を人に伝えるためには様々なことにふれ、体験することが重要と語った。

## ふるさと塾「水辺の楽校であそぼう」

### ～野生に帰った子ども達～

とままえふるさと塾「水辺の楽校であそぼう」が7月25日(土)に古丹別水辺の楽校において、自然とのふれあいや生き物に対する命の尊さや思いやりを育むことを目的に開催された。今回は水辺の楽校内の1つの池を工事のために水を抜く必要があり、そこに住んでいる生き物をもう1つの池に移す必要があったことから、留萌土木現業所羽幌出張所の協力を得て実施した。

雨まじりだったこともあり、当日の参加は小学生約10名と少なかったが、最初服が濡れないよう気をつけていた参加者も30センチを超えるコイやフナを見たたん、魚を捕るのに夢中で服が濡れるのもかまわず走り回る参加者も。いつの間にか協力していた留萌土木現業所羽幌出張所職員も一緒になってエキサイト。大人も子どももいつのまにか自然に溶け込み、野生に戻っていた。

その後、会場を公民館に移動、昼食をとったあと、参加者が捕った魚を画像で保存していたため、その種類を図書室で調べ学習をしたあと、捕った記念として絵手紙に残した。参加した子ども達も大変満足そうであった。



# 健康ばんざい

## 「いつまでもはつらつと」

今月の担当は加藤保健師です。

年を重ねていくと人の身体や心の状態は変化していきます。その変化を受け入れながら、いつまでも自分らしく生活できるように生活習慣を見つめ直し、必要であれば改善を心がけることが必要です。

### ☆はつらつ生活のためのポイント☆

- ・外出の機会がある活動的な暮らし
- ・運動などで体力・筋力の保持増進
- ・治療中の病気を悪化させない。新しい病気にならないよう健康管理
- ・生活機能評価を受けて介護が必要になる要因の早期発見

町では、右記のポイントを具体的にどのように実施したか、いろいろな取り組みを一緒に



考えたり、方法を伝えるために介護予防事業を行います。ほとんどがこれから実施していくこととなりますが、二十一年度予定している事業を次に紹介します。

開催が近くなりましたら回覧等でご案内しますので、是非たくさんの方の参加をお待ちしています。

#### ○巡回はつらつ教室

- ・時期 八～九月にかけて
- ・各地区的の会館を巡回し開催
- ・対象 各地区の六十五歳以上の方
- ・内容 体操実技・講話等

#### ○寿いきいき教室

- ・時期 十～三月 (月二回程度)
- ・対象 一般高齢者、特定高齢者(生活機能評価の検診を受けた結果、一定の条件に該当し、対象と決定された方)

#### ○講演会

- ・時期 十二月
- ・対象 一般住民
- ・内容 介護予防に関すること(七月二十七日に脳活性化講演会は終了)

#### ○その他

- ・介護者家族の集い
- ・また、何か不明な点、相談がありましたら窓口の苦前町地域包括支援センター(苦前町役場内)までご連絡ください。

- ・内容 運動実技・お口の健康・その他

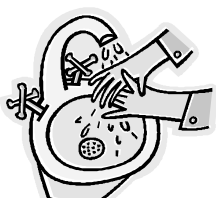
## + Dr.小野の処方せん

### 新型インフルエンザ

今回の新型インフルエンザ(A/H1N1)の国内感染者は、7月26日までに5000人を突破した。道内で131人と報告され、10代の感染者が全体の4割以上を占める。WHOはフェーズ分類を「6」とし、世界的な蔓延(まんえん)状況にあると宣言した。

医療体制は発熱外来を行っている医療機関のみならず、原則としてすべての一般医療機関においても患者の診察を行う。その際、発熱患者とその他の患者について医療機関内の受診待ちの区域を分ける。大規模な流出を阻止するため、集団に属する患者について把握し、疑い患者の一部の確認検査を実施する(新型インフルエンザの確定)。原則として患者については外出を自粛し、自宅において療養する。感染経路については、飛沫感染が主体で接触感染も推定されている。予防としてマスク着用、咳エチケット、うがい、手洗い、拭き取りが効果的である。

潜伏期間は1～4日、感染期間は7日後と推定している。



医療法人社団オロン会  
苦前クリニック  
理事長 小野 哲郎 ☎ 64-9070

## 後期高齢者医療被保険者の皆様へ 被保険者証及び減額認定証の更新が始まっております。

現在、使用している後期高齢者医療被保険者証が7月31日で使用できなくなり、8月1日からは新しいものとして**黄色の保険証が届きます**ので、今まで使っていた**青色の保険証は、各家庭で破棄**して下さいますようお願いいたします。

また、一部の方に減額認定証(限度額適用・標準負担額減額認定証)が届きますが、こちらについても7月31日で使用できなくなり、8月1日からは新しいものとして**橙色(だいたいいろ)の保険証が届きます**ので、今まで使っていた**緑色の減額証も、各家庭で破棄**して下さい。

なお、破棄する場合は個人情報記載されていますので、シュレッターやはさみで細かく切るなどして処理下さいますようお願いいたします。

北海道後期高齢者医療広域連合

国民健康保険ガイド

国保Q&A

Q 先日、役場から「医療費のお知らせ」が届いたので見ると、医療費の欄には、我が家で病院に支払った金額の三倍もの額が記入されていました。医療費は、こんなに多かったりするのですか？

A 苫前町の国保では、年六回「医療費のお知らせ」を加入者の皆さんに送付しております。

「医療費のお知らせ」は、**実際にかかった医療費の総額（一〇割）**でお知らせしています。

皆さんが、医療機関の窓口で支払っているのは、**医療費の三割～二割**にあたる金額となっています。このため、「医療費のお知らせ」に表示される金額には、大きな差があるのです。

そして、この大きな差額分は、皆さんに納めて頂いている**保険税と国・道・町の負担金**によってまかなわれているのです。

特に、国保では、毎年医療費が増加する傾向にあります。医療費が増加すると、保険税の増加につながり、皆さんの負担も大きくなります。

このことから、医療費にもつと関心を持っていただき「**医療費のお知らせ**」が届いたら必ず見るように心がけて下さい。

お知らせ

国保被保険者の入院時に係る限度額適用・標準負担額減額認定証について、有効期限が平成二十一年七月三十一日をもって終了しておりますので、八月一日以降についても利用する場合は、町民課窓口にて申請手続きをお願いいたします。

※限度額適用・標準負担額減額認定証は本人や世帯の課税状況等により、入院時に医療機関へ支払う一部負担金や食事代が減額となる認定証。

町民課しあわせ係国保担当（六四―二二五内線 二二八）

介護保険・福祉 Q&A

要介護認定について

介護保険サービスを利用するには、「要介護認定の申請」をすることが必要となります。

1) 認定調査

要介護認定の申請後には、心身の状態などを把握するため、認定調査員（介護支援専門員等）の聞き取り調査を受けていただきます。

2) 主治医意見書

町では訪問調査と併行して主治医（かかりつけ医）に、サービスの利用を希望するご本人の心身の状態について意見書の作成をお願いしています。

3) 審査・判定

「コンピューターによる判定」や「主治医の意見書」、「訪問調査による特記事項」などをもとに、どのくらいの介護が必要かを保健・医療・福祉の専門家により構成される「介護認定審査会」でどのくらいの介護が必要かを総合的に審査・判断します。

4) 結果通知

審査判定の結果は郵送等にて通知されます。なお、要介護認定の認定内容によって利用できるサービスが異なりますので、確認をお願いします。

※要介護認定の有効期限と効力

はじめの認定については6ヶ月後に更新が必要ですが、その後の更新は状態の変化に応じて3ヶ月から24ヶ月の間で有効期限が異なるほか、認定の有効期間内であっても著しく身体の状況が変化した際は変更申請が必要ですので、詳細については下記まで問い合わせ願います。

お問い合わせ 苫前町町民課しあわせ係 0164-64-2215（内線 227）まで